

## 第9回経塚公園連絡協議会（準備活動）開催結果について

1. 日時 2024年2月21日（水）19：00～21：15
2. 場所 浦添市役所6階会議室
3. 参加者等 会場参加：23名  
浦添市、UR都市機構 沖縄まちづくり支援事務所  
ファシリテータ：株式会社新産業文化創出研究所 廣常 啓一

第9回経塚公園利活用連絡会では、経塚公園に関する方針や今後の整備予定、利活用の方針や連絡会の活用などの説明を行った後、今年度実施された2つの「地域主体」の社会実験イベントの振り返りや今後に向けた意見交換を行いました。社会実験イベントは、公園利活用の実践者（主体的な活動者）を支援する場でもあるため、このような振り返りを行うことによって、今後の継続的な活動への期待を込めて行われました。また、既に公園内で活動が行われているピィパーズ（植栽）の管理ボランティアの募集も行われました。

今年度（令和5年）は、公園利活用連絡会以外での意見交換の場として、テーマごとのLINEグループを作り、テーマに関する情報交換や、イベントに向けた意見交換を行って参りました。年度末にあたり、LINE活用が活発に行われているもののみを残し、残りは廃止をすることになりました。また、公園利活用連絡会専用のLINEグループを新たに新設し、全体的な内容はそちらで情報発信、情報交換行われることになりました。

今回の公園利活用連絡会では、議論が進みにくい場面もありました。今後はより活発な意見交換が行われるように、発表者は課題や議論の内容を皆様に分かりやすく提示するご準備をいただくことになりました。またこの連絡会は、現在は市が試行的な取り組みとして主催をしていますが、市へ要望を伝える場ではなく、参加者の話し合う場、前向きな話しあいを通して協力関係を築く場、知恵を持ち寄る場が主な目的となります。その点をご理解いただき、今後は連絡会の開催方法や司会なども、参加者主体で進めていただけるように移行する予定であることが事務局より説明されました。

経塚公園は、供用開始前の公園であり、トイレや照明など未整備の段階ですが、「みんなでつくり、みんなで使う公園」として、議論を深めながら一緒に考えていく場としていただきたいと思っています。



◆浦添市 美らまち推進課 上地いくみ

<経塚公園の整備>

- ・平成 30 年度から令和 2 年度にかけて、地域住民や事業者等を対象とした作業部会との対話を通し、令和 3 年 5 月に今後の経塚公園の指針となる「経塚公園まちづくり計画」を策定し、そのなかで経塚公園の方向性を『地域の健康づくりや市民の健康増進に資する「ヘルシーパーク」』と決定。



<整備スケジュール>

- ・緑破線：Park-PFI 事業にて整備予定。
- ・青破線：市が整備予定。
- ・P-PFI 整備を鑑みて、令和 6 年度以降順次整備予定。



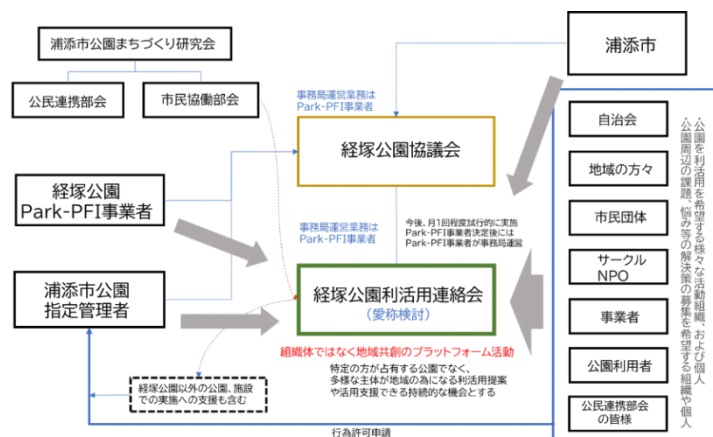
<イベント可能区域>

- ・赤ライン：経塚公園区域
  - ・青ライン：P-PFI にて整備される区域
  - ・緑ライン：現在のイベント可能区域
- ※来年度も同じエリアでイベント実施可能。



<経塚公園の利活用連絡会の成り立ち>

- ・令和 3 年度以降は、固定されたメンバーから公園を利活用する誰もが参加可能となる利活用連絡会に形になった。



<公園利活用連絡会について>

- ・公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携ができる、地域の皆さんとの共創を推進する場。アイデア段階のものなども発表いただくことできる。
- ・参加対象者は、公園を活用したい活動組織、個人、事業者の皆さまや、公園での活動の情

報を知りたい方等

- ・連絡会を円滑に進めるためのルールも設けている。(イベントガイドライン参照)

#### <P-PFIについて>

- ・P-PFIとは、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
- ・事業予定者：医療法人社団オレンジ
- ・事業コンセプト：医療法人としての実践を通して、公園を拠点に「つながり」を作り、浦添市の健康に寄与する。
- ・カフェ、ジム、集会所、トイレや芝生広場、駐車場、散策路が、事業予定者によって整備される。

#### <今年度実施の公園利活用連絡会、社会実験イベント>

	9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月
①公園利活用連絡会	第6回 11(月)開催	第7回 13(金)開催		第8回 25(土)開催		第9回 21(水)開催
②社会実験イベント		15(日)開催 「山吉果青空市」 「手持ち花火」 「イルミネーション」 「沖繩の魚パネル」	25(土)開催 第5回経塚まちぐるみ in経塚公園	17(日)開催 安全に公園へ、ゴー！あそびマルシェ 体験会(避難訓練)	14(日)開催	

## 2. みんなでつくり、みんなで使う公園

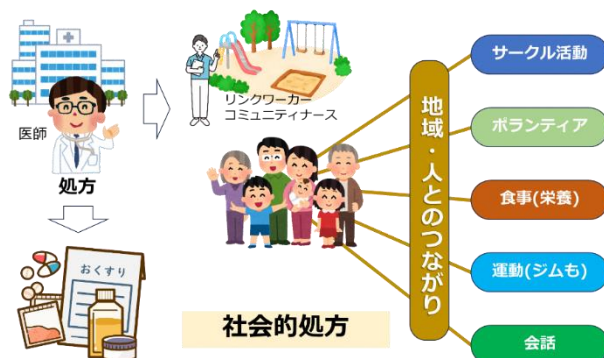
(株)新産業文化創出研究所 代表取締役 廣常啓一

- ・ここでは公園利活用連絡会の必要性や、地域主体の活動の必要性について説明をする。
- ・公園は誰のものか、公園を使う法律、ルールは誰を中心に決定しているのか、公園管理や許可は誰がしているのか、他の利用者との調整は誰が行っていくのか、など、利用者にとっては不明瞭なことが多い。連絡会やイベントを通して、情報を得たり、ルールを作っていく。
- ・公園には、大きく3つの課題がある。



【禁止事項ばかりの公園】自分たちのニーズに合わないクレームとなり、禁止看板などが立ち並ぶ公園になっている。

【地域の实情（課題解決）に結び付かない公園】例えば子ども向けの公園となっていて、地域のニーズにそぐわない公園となっていることなどがある。現在は様々な属性の方々が使えるような「インクルーシブ公園」などの発想も出てきている。例えば経塚公園には、周辺に社会福祉施設、保育所、病院等があるため、インクルーシブな公園なども考えていけないのではないか。また公園は、地域とのつながりを作ったり、運動、活動を通して健康になる「社会的処方」の拠点として、地域包括ケアを補完する機能を持つこともできる。公園はハードの整備が中心となっているが、社会的処方として様々な関係者が関わることによって、ハードをより有用なものとして活用が可能になる。



【財政難（公園整備・維持管理コスト等）】都市公園法等の改正があり、公園をより効果的に利活用できるようになった。その一つに、「ローカルルール」の制定がある。地域の方が地域にあったローカルルールを制定できるようになった。誰かが損して誰かが得するような形ではなく、皆が合意形成をしながら進めるようなものとされている。P-PFI 事業者も、そのような流れから、地域に求められるような公園（施設）を作ることが求められている。従って、このような公園づくり、ルール作りを、地域と行政、P-PFI 事業者や指定管理者なども一緒に行っていくことが推奨されている。

【財政難（公園整備・維持管理コスト等）】都市公園法等の改正があり、公園をより効果的に利活用できるようになった。その一つに、「ローカルルール」の制定がある。地域の方が地域にあったローカルルールを制定できるようになった。誰かが損して誰かが得するような形ではなく、皆が合意形成をしながら進めるようなものとされている。P-PFI 事業者も、そのような流れから、地域に求められるような公園（施設）を作ることが求められている。従って、このような公園づくり、ルール作りを、地域と行政、P-PFI 事業者や指定管理者なども一緒に行っていくことが推奨されている。

- ・浦添市では、様々な方々が参画しながら公園の利活用について考え、取り組める体制を整えてきた。地域を中心とした市民協働部会を開催し、のちに公園利活用連絡会となった。地域だけで不足している専門家の知識補完や資金調達のために公民連携部会を開催、公園部局以外の行政的支援が可能となるように浦添市庁内連携会議などを開催しながら、「浦添市公園まちづくり研究会」を実施してきた。
- ・供用開始前の経塚公園を使って、公園利活用の社会実験を行ってきた。社会実験では、例えば、現状は火が使えない公園で、火を使うための手続きや地域との合意の取り方などを「手持ち花火大会」を実際に実施しながら調査、推進する機会とした。
- ・そのほかにも、ペットをテーマにしたり、健康、子ども、子育て支援など、様々なテーマの公園活用（公園ルール）などを考えることができる。公園利活用連絡会では、このようなことを話し合う場として設定しており、「みんなでつくり、みんなで使う」ことを前提としながら、主体的な話し合いの場としていければよいと思う。

### 3. 自己紹介 省略

### 4. 地域主体イベント振返り／その他利活用の意見交換

## 【社会実験イベントについて】

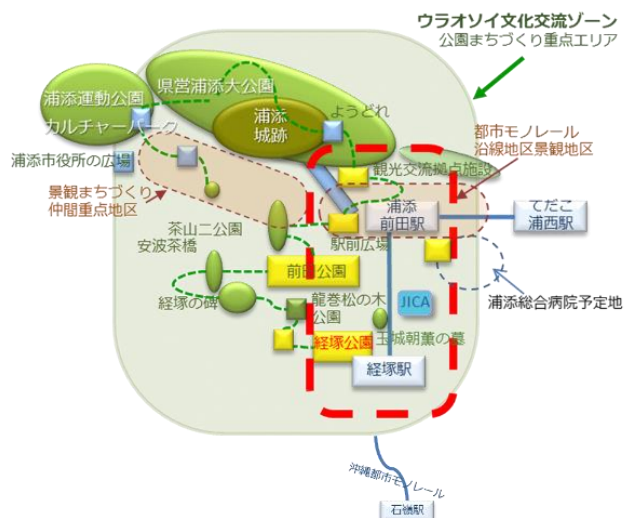
- ・今年度は10月15日、11月25日、12月17日、1月14日の4回の社会実験イベントを実施した。その中で12月17日、1月14日は地域主体で実施されたため、ここで振り返りや今後に向けた意見交換をすることによって、継続的な開催支援を行えばと思っている。
- ・経塚公園を活用した社会実験の目的は以下の通りであるが、地域主体を輩出することも大きな目的の一つとなっている。

- ・公園まちづくりのモデル公園に
- ・浦添の顔としての公園
- ・地域課題解決や地域価値向上で使われる公園（小さな公園としての役割）

- 上記目的の活動の推進
- 実践的な取り組みの場と、主体人材輩出

- ・整備前の公園

- 整備段階から地域と共に。ネットワークづくり
- 整備のための調査
- 機運醸成



- ・実践の場の提供
- ・主体者や出店者、イベント参加者へのアンケートの実施等による検証

## 【安全に公園へ、ゴー！体験会（避難訓練）】

開催日：2023年12月17日（日）13:00～16:00

場所：経塚公園（〒901-2102 沖縄県浦添市経塚）

主催：湧き水

開催協力：UR 都市機構／浦添市

（事業受託先：新産業文化創出研究所）／

若竹福祉会／平安病院／グリーンハイツ自治会

イベント概要：参加者・約20名



- ・公園利活用連絡会で企画が持ち上がっていた「地域防災」として、主に要支援者のための避難訓練、身を守るためのレクチャー、ゴミ袋でレインコート作り、野草を使った炊き出しのイベントを実施した。
- ・地域防災に至った問題意識としては、経塚公園周辺は社会福祉法人や医療法人が集積しており、個別の避難訓練はしているが、いざという時は近隣の経塚公園が使われる可能性がある（特に、第一避難公園は遠方にあるため、実際はまずは経塚公園に避難することなども考えられる）。そこで、これらの施設に参加していただき、それぞれの課題を見つけた

り、連携による地域防災の可能性について検討することは意義のあることだということから今回の社会実験イベントに至った。

<主催者説明・振り返り>

- ・若竹福祉会、平安病院、グリーンハイツ自治会、ありかけの里に声掛けをして実施したが、当日は寒く、またインフルエンザ流行などもあり、参加者は少なかった。
- ・若竹福祉会などの避難場所が浦添工業高校となっており、行く道など危険がある。そのあたりも考え、経塚公園への避難なども考えていく必要があると思っている。
- ・これで終わらずに、今後も続けていきたい。



<意見交換>

- ・今後の進め方は？  
→皆さんのアイデアをいただきながら、よりよい地域防災を考えていきたい。
- ・浦添総合病院と協力しながら進めて行けば良いのでは？  
→地域包括センターさっとんは浦添総合病院のメンバー。徐々に一緒に進める様にしていきたい。
- ・子どもやママ向けにこのようなレクチャーや炊き出しなど可能か？  
→可能。
- ・第5次総合計画で「浦添城を中心としたまちづくり」などが謳われている。それにふさわしい公園づくりを一つのテーマとしたらどうか？
- ・現状の経塚公園は、子どもたちが遊べる公園（日陰やトイレがあるなど）となっているか？まだないなら、子どもたちを連れていく企画は難しい。  
→経塚公園は整備中の公園でトイレなどはまだない。皆さんの意見も取り入れながら作っていく。
- ・今回の炊き出しなどの費用はどこから出ているのか？商品を買りたいメーカーからサンプルを出してもらおうなど、企業協力があればよいのでは？  
→持ち出し。市役所から、防災訓練用のご飯をもらえることになっている。また湧き水では、浦添市のまちづくり関連補助金をもらっており、これも活用できそうである。  
→経塚児童センターに備蓄が多くあり、活用されないままになってしまった。きちんと分けるルールがあれば必要なところに分けられていたと思う。
- ・主催者同士の企業協賛、協力などの情報交換などもさせてほしい。

## 【あそびマルシェ】

開催日：2024年1月14日（日）11:00～15:00

場所：経塚公園（〒901-2102 沖縄県浦添市経塚）

主催：スマイル MAMA

参加団体：シェイプスガール沖縄・浦添、なんくる鍼灸整骨院、沖縄県パイパーズ生産推進協議会、イルミネーション花の会、沖縄の魚を知ってもらおう会、SUN Smile、ベンチタイム、放課後子ども支援教室、浦添市コンシェルジュ、ハリーズ&ジャック、organize、MARURU、smoco、DonDon、ほか手作りアロマ、ヘッドスパ&占い、写真、ハンドメイド作品、フリーマーケット出店者

開催協力：浦添市（事業受託先：新産業文化創出研究所）／UR 都市機構／ゆいまあるてだこパートナーズ（指定管理者）

イベント概要：参加者・約 700 名



- ・11月25日の公園利活用連絡会、社会実験イベントで、ママ&キッズ支援を行いたいと意気投合し、チームを組んでイベントを主催。フリーマーケットを中心に、体験や販売、展示ブースが立ち並び、多くの親子連れが来場した。

### <主催者説明・振り返り>

- ・11月25日の連絡会、イベントで知り合い、共通の関心事として、今回はママ&キッズの支援ということをテーマにイベントを実施した。今後は“ママ&キッズ”支援ばかりでなく、子ども支援、防災、食や居場所支援など、様々なテーマで開催できればよいと考えている。P-PFI 事業者にも、イベント等を通して、地域のニーズを届けられるのではないかと思う。
- ・事業者がイベントなどを主催し、地域に楽しんでもらい、得た収益を更に地域に還元できるような仕組みを作っていきたい。
- ・次の構想はできていない。
- ・次回は、チラシ部数を増やしたり、垂れ幕を用意するなど、告知に力を入れたい。（横断幕は7000円程度）。やってみて、お金のかかり方や告知方法など、課題も出てきた。メディアリリースなども考えていきたい。その他、ボランティア、駐車場が課題だと思っている。
- ・協賛も集めていきたいが、知恵や紹介が欲しい。

### <意見交換>

- ・バナーを入れる場所などが整備されていれば、バナーなどを入れていける。予告にもなる。

- 協力いただける企業のバナーを借りて来て、そのまま使えるから、活用できそう。
- みんなの意見を集約して動きたかったが、やりにくかった。ボランティアなども募集しづらかった。
- ・連絡会では、企業からお金を集める方法、連絡会に参加してもらう方法なども話し合えれば良いのではないか。
  - 企業の出店料は少し上がるかもしれない。1回目で様子が分からなかった。
  - 場所が広くないので、出店料より協賛の方が良いかもしれない。
- ・次回の予定は決まっているか？
  - 決まっていない。出店者の立場というより、みんなで作るもの（企画側）として参加してほしい。得意分野の役割分担などをしながら作っていきたい。
  - ほかの方のやりたいことに対して、協力側になることもできる。「遊びマルシェ」のテーマを今回は“ママ&キッズ”としていたが、ほかの方のやりたい事に変えることも可能。
  - 継続的に開催していきたいが、自分も仕事を持っているため、定期開催は難しい状況である。

#### <参加者アンケート報告>

- ・経塚公園はまだ供用開始されていないが、社会実験を繰り返しながら、どういう活用ができるかを模索している所である。その中で検証も必要なため、参加者向けアンケートを実施した。
- ・簡易的にアンケート調査をできるように工夫した。
- ・約 700 名参加、アンケート回答者 236 名
- ・これまでのイベントと比較して自家用車の比率が高かった。
- ・近隣の方の来場が多かった。（イベント内容や周知方法によるものかもしれない。）
- ・SNS での参加が約 60%で最多であった。横断幕や、キッチンカーの入口付近への配置も有効。
  - 参加者同士の SNS の送りあいも有効と思われる。
- ・満足度は非常に高かった。
- ・次回以降の参加意向は多かったが、企画から参加したいという方はいなかった。



#### 【公園活用アイデア、仲間募集、地域課題解決など】

##### ◆パイパーズ管理ボランティア募集

- ・経塚公園壁面のパイパーズは、浦添市の平成 30 年度に、経塚駅開通時期に間に合わせて、経塚公園先行事業として植樹されたものである。3 年後には半減してしまっていたので、それを立ち返らせるためにボランティアの管理活動を始めた。



- ・23名のボランティアでスタートしたが、今はそのメンバーはほとんど残っていない。(現在は、沖ピ会のほか、URや外部企業メンバーが来てくれている。)
- ・壁面緑化を一緒に進めるチームができないかと望んでいる。



#### ◆今後の活動について

- ・活動が途切れてしまわないように、次回の活動を決めたい。
  - 概ね4月頃のイベント開催を目途に、LINEグループにて話し合いを進める。
  - LINEグループに浦添市などにも入っていただきながら、場所や内容の調整をしながら進める。
- ・昼間は暑いので、朝や夜のイベントなども良いのではないかと？



#### ◆P-PFI 事業予定者 オレンジより

- ・オレンジは、医療関係者が多く所属している組織である。
- ・在宅医療、ストレッチャーなどを使う重症な子ども達の対応を行う一方で、心身共に健康に豊かに生きていくことへの寄与も行いたいと考えている。
- ・経塚公園でのP-PFI事業は、後者を目指すもので、公園で人と人がつながっていく環境を作っていきたい。施設としては、カフェ、ジム、集会所などの機能を作る予定である。
- ・カフェは、「皆さんが集い、話し合える場」をテーマにしており、イベントや、それぞれの取り組み、このような連絡会などでも使っていただきたいと考えている。



#### 5. LINEグループについて

公園利活用連絡会以外で意見交換できる場、情報交換できる場として、今年度よりテーマごとのLINEグループを作って、実際に社会実験イベントなどについても意見交換を行ってきた。最終コメントがしばらく更新のないものなどは閉鎖し、今後も対話が行われることが想定されるものは残すこととなった。

また、公園利活用連絡会のLINEグループも新設することとした。公園利活用連絡会からのお知らせや、全体的な連絡が必要な時に利用することを想定している。

LINEグループでは様々な活動の事例などの紹介などもあればよいと思う。連携をイメージして情報発信、情報交換をしていただきたい。

グループ名	参加人数	最終コメント	対応
フリマ系グループ	36	2/8	残す
子ども系グループ	19	2/2	残す
防災系グループ	13	11/9	残す
経塚公園利活用連絡会			新設
11/25 イベント	21	1/24	閉鎖
12/17 イベント	11	12/19	閉鎖
JICA 連携グループ	14	11/29	閉鎖
ピクニック系グループ	11	10/17	閉鎖
健康系グループ	15	11/19	閉鎖

以 上